

第3回定例町議会において、平成22年度の補正予算が可決されました。一般会計の補正予算は、上水道事業会計出資金、道路補修事業、ヒブワクチン、新型インフルエンザワクチン接種補助金などで、1億2,301万4千円を追加し、予算額は109億644万8千円となりました。

そのほか各会計の補正予算額および一般会計の主な補正内容は次のとおりです。



補正予算

平成22年度 標茶町各会計予算の概要

会計別		補正前予算額 (A)	9月補正額 (B)	補正後予算額 (C)=(A)+ B
一般会計		10,783,434	123,014	10,906,448
特別会計	国民健康保険事業 事業勘定	1,257,868	0	1,257,868
	下水道事業	732,000	△ 16,650	715,350
	老人保健	1,113	907	2,020
	介護保険事業	1,244,243	8,450	1,252,693
	後期高齢者医療	95,238	0	95,238
合計		14,113,896	115,721	14,229,617

(企業会計)

病院事業	1,120,208	0	1,120,208	歳入
	1,228,393	0	1,228,393	歳出
上水道事業	288,854	86,952	375,806	歳入
	302,042	83,000	385,042	歳出

単位：千円
※△は減額です。

区分	主な補正予算	事業費	内容
民生費	認知症グループホームスプリンクラー等整備事業補助金	3,231	
	社会福祉協議会補助金	2,300	
衛生費	ヒブワクチン接種補助金	1,797	
	新型インフルエンザワクチン接種補助金	3,124	
	上水道事業会計出資金	83,000	配水管敷設替
農林水産業費	道営農山漁村地域整備交付金事業	1,000	道営事業負担金
	有害鳥獣駆除事業	4,162	
商工費	緊急雇用創出推進事業	4,070	
土木費	町道補修工事	22,000	
	防雪柵設置事業	7,000	
消防費	ベルタイマー設置事業	1,470	
諸支出金	下水道事業特別会計繰出金	△ 15,750	

標茶消防団第1分団見事優勝!!



第55回釧路管内消防団員技能競技大会が9月11日(土)に釧路市消防訓練場で開催されました。標茶消防団から消防自動車ポンプの部に第1分団(標茶市街)、第4分団(塘路)、小型ポンプの部に第5分団(虹別)が出場し、息詰まる熱戦を繰り広げました。結果は第1分団が消防自動車ポンプの部で2位に3秒以上の大差をつけ見事優勝、また第4分団、第5分団も入賞は逃したものの、訓練の成果を存分に発揮しました。

標茶消防団の自動車ポンプの部優勝は13年ぶりの快挙となりました。

大会に向け1カ月間にわたり汗を流した選手のみなさん、本当にお疲れ様でした。また大会出場にあたりみなさんからのたくさんのご声援本当にありがとうございました。

消防だより



標茶消防署 ☎485-2021

ホームページ

<http://www.town.shibecha.hokkaido.jp/~sfsma/>

秋の火災予防運動を実施します

秋から冬にかけては空気が乾燥し、また暖房器具など火気を使用する機会が多くなり、火災が発生しやすい季節です。



秋の火災予防運動

はこのような時期を迎え、火災予防の一層の普及を図り、尊い生命や財産の損失を防ぐことを目的に行われます。

10月15日(金)～31日(日)の運動期間中、標茶消防署では防火査察、車両広報を通して防火を呼びかけます。みなさんのご協力をよろしくお願いします。

知ってる!? 釧路湿原

● 釧路の未来編

雄大な自然を保つ釧路湿原。そこに忍び寄るさまざまな問題。その対策として今行われている「自然再生事業」。今後の釧路湿原はどのようなのでしょうか。

もし、釧路湿原で起きている問題をそのままにしておいたら下図のようになるかもしれません。

自然再生事業では、現在6つの事業(対策)が行われています。1つの事業だけでは湿原を守ることはできません。いくつもの課題に対していくつもの対策、そして時間をかけなければなりません。しかし、自然再生事業だけでは湿原を守ることができません。湿原周辺に暮らす私たち一人ひとりが、釧路湿原を意識し守ることが大切だと考えています。

私たちが湿原周辺に暮らしている限り、必ず何かし

ら湿原との関わりがあります。例えば湿原周囲の道路を利用したり、周囲の丘陵地を利用したり、観光資源として湿原に関わるなど、私たちは湿原に対して複雑にさまざまな形で関わっているのです。それぞれの人がそれぞれの関わり方の中で、湿原のことを気かけたり、自分たちのできる範囲で湿原を守ったりすることで、湿原は守られていくと考えています。

○自然再生協議会ではこんな目標を掲げています

「この地域に本来生息している生き物が全滅することなく生きていける環境、そして私たちの暮らしに豊かな恵みをもたらす水と緑の大地を取り戻すこと」。これを実現するには50年、100年と長い年月が必要でしょう。もしかしたらその後も、湿原は新たな課題を抱えているかもしれません。しかし、100年後もその先も「守るべき釧路湿原」があり、子や孫たちが現代と同じ、またはそれ以上の、湿原の恵みを受けていられることを願っています。

環境省釧路自然環境事務所 (☎0154-32-7500)

